

令和5年9月18日（月曜）長崎新聞

回答者
宮崎 力
みやざき ちから



宮崎歯科医院長

（長崎市稻佐町）

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

【問い合わせ】2日前に口内炎があり、痛くて食事も取れません。
口内炎の原因や治療、予防などについて教えてください。
（長崎市、40歳女性）

【答え】大変お困りと思います。口内炎ができるとなかなかごはんがおいしく食べられません。唇、頬、歯肉、舌、のどの奥など口の粘膜に起こる炎症のことをまとめて口内炎と呼びます。口内炎の種類と原因を知り、対策をしていきましょう。

口内炎の種類には△アフタ性（最も一般的にみられるものでストレス、過労、睡眠不足などが原因）△外傷性（頬の内側をかんだり、入れ歯が合っていないかつたり、やけどしたりするなど）△ウイルス性（ヘルペスウイルス、エンテロウイルスなどの感染が原因）△カンジダ性（口の中が乾燥したり免疫力が下がったりして、口の中の常在真菌が過剰に繁殖して起こる）

【問い合わせ】2日前に口内炎があり、痛くて食事も取れません。口内炎の原因や治療、予防などについて教えてください。

おくちの相談室

口内炎の予防法は？

休養、ビタミン摂取が大切

△その他（食べ物、薬物、歯の詰め物の金属が刺激となりアルギー反応で起こる）一などがあります。予防には、心身共にゆっくり休養を取ることが大切です。そして原因を取り除きましょう。ウイルスは乾燥を好むので水分を十分取るように心がけ、お口の中を清潔にし、栄養バランスの整った食事を取りましょう。ビタミン摂取が大切で特にビタミンB₂が効果的です。粘膜や皮膚を保護・再生する働きがあり、納豆、レバー、干しシイタケ、鶏卵、のり、うなぎなどに多く含まれます。

一方、口内炎は全身の病気であるベーチエット病やクローネ病などでも発生します。また、多くはたいてい2週間で完治しますが、なかなか治らなかつたり、何回も繰り返したりする場合は、まれに口腔がんの可能性があります。日本人の場合、すべてのがんのうち約1%が口腔がんで、年々増加傾向にあります。